| 学校番号 | 1006 |
|---|---|

# 令和２年度　国語科

| 教科 | 国語科 | 科目 | 現代文Ｂ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「改訂版現代文Ｂ』（数研出版） | | | | | | |
| 副教材等 | 「スタディアーク現代文 step２」（第一学習社） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・話し合いや文章記述、発表など、アクティブな活動を取り入れた授業も行います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、内容を「要約する能力」、また、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。
・社会に出たり進学したりする際に必要な「総合的な国語力」を身に付けてください。

## ２　学習の到達目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

## ３　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:話す・聞く能力 | c:書く能力 | d:読む能力 | e:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。 | 目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。 | 相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。 | 文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。 | 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。 |
| 主たる評価方法 | 行動の観察<br>記述の点検<br>（ノート、ワークシート等） | 行動の観察<br>（発表等のパフォーマンスの評価） | 記述の確認及び分析<br>（ワークシート、原稿用紙） | 記述の確認及び分析（ワークシート）<br>定期考査 | 行動の観察<br>記述の確認<br>（ノート、ワークシート等）<br>定期考査<br>小テスト |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | e | | |
| 1学期 | 評論 | 『手の変幻』<br>1．論理的な文章を読んで、筆者の考えについて自分の意見を書く。<br>2．文章における各段落の役割を確かめる。<br>3．指示語に注意して抽象的な表現を具体的に言い換える。 | ○ | | | ◎ | ○ | a:考えの進め方、文章の筋道を的確にとらえようとしている。<br>d:考えの進め方や、文章の筋道を的確にとらえている。<br>e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。 | a:行動の観察<br>d:記述の確認及び定期考査<br>e:小テスト及び定期考査 |
| | 詩歌 | 『永訣の朝』<br>1．詩に描かれている情景を語句や表現に注意して読み、「わたくし」の「いもうと」に対する心情を的確にとらえている。<br>2．詩の表現について、視覚的な工夫(行の字下げやローマ字書きなど)と、聴覚的な工夫(方言の多用など)をとらえている。 | ◎ | ○ | | ○ | ◎ | a:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。<br>b：音読や話し合いを通して描写の理解を深める。<br>d:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、表現上の工夫や効果に気付いている。<br>e:文章の形態や文体の違い、修辞による特色について理解している。 | a:行動の観察<br>b:行動の観察<br>d:記述の確認及び定期考査<br>e:小テスト及び定期考査 |
| 1学期 | 小説 | 『山月記』<br>1.「李徴」の人柄や心情の推移を的確にとらえ、人間が虎になるという作品設定の意図について考察している。<br>2．文章に描かれている人物の心情を表現に即して読んでいる。<br>3．漢文調の文体や語句が作品にもたらす表現上の効果を理解している。 | ○ | | ○ | ◎ | ○ | a: 人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかをとらえ、言葉の美しさや深さに気づこうとしている。<br>c：関心をもった事柄などについて文章にまとめ、的確に伝えようとしている。<br>d：人物、情景、心情などをどのように書き手が描いているのかをとらえ、言葉の美しさや深さに気づいている。<br>e：文章の形態や文体のちがいによる特色について理解している。 | a:行動の観察<br>c:記述の確認<br>d:記述の確認及び定期考査<br>e:小テスト及び定期考査 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | 評論 | 『文学のふるさと』<br>1．筆者の、三つの物語を挙げた意図と、「文学」の扱い方についての考えを的確にとらえ、その論理性を評価している。<br>2．文章中の比喩表現の内容を理解し、その効果をとらえている。 | ◎ | | | ◎ | ○ | a:考えの進め方や、具体例と抽象的見解の対応など、文章の筋道を的確にとらえようとしている。<br>d:考えの進め方や、具体例と抽象的見解の対応など、文章の筋道を的確にとらえている。<br>e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。 | a:行動の観察<br>d:記述の確認及び定期考査<br>e:小テスト及び定期考査 |
| 2学期 | 評論 | 『胆力について』<br>1．文章の構成を確かめ、「『驚き』が知的探究を動機づける」という主張の内容を的確にとらえている。<br>2．慣用句の意味と用法を的確に理解し、説明している。<br>3．逆説的な表現の内容をとらえている。 | ◎ | | | ◎ | ○ | a:考えの進め方や、逆説的な表現の内容、文章の筋道を的確にとらえようとしている。<br>d:考えの進め方や、逆説的な表現の内容、文章の筋道を的確にとらえている。<br>e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。 | a:行動の観察<br>d:記述の確認及び定期考査<br>e:小テスト及び定期考査 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3学期 | 小説 | 『こころ』<br>1．登場人物の心情を表現に即してとらえたり、自分の考えをまとめたりして、筆者がこの作品で描きたかったことについて考察している。<br>2.「私」と「K」の下宿において、「仕切りの襖」がどのような場面で使われ、どのような効果を上げているかなどの描写の意図を理解している。 | ○ | ○ | ○ | ◎ | ○ | a:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。<br>b：登場人物の性格，行動について、班で話し合おうとしている。<br>c：登場人物の内面について、自分の考えをまとめることが出来る。<br>d：登場人物の性格，行動について的確に読み取り，人間について考えを深めている。<br>e：文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。 | a：行動の観察<br>b：行動の観察<br>c：記述の確認<br>d：記述の確認及び定期考査<br>e：小テスト及び定期考査 |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力　　c:書く能力
d:読む能力　　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。